

## 「仙台市障害者福祉計画」中間評価報告書(中間案)からの主な変更点

ページ数・箇所	変更点
2 ページ・ 1 (1)	5 行目 国障害者政策委員会の審議内容を追記 「令和2年6月の委員会意見の取りまとめでは～」
2 ページ・ 1 (3)	6 行目 法定雇用率の改定を追記 「令和3年3月より、障害者雇用率は～」
2 ページ・ 1 (3)	9 行目 読書バリアフリー法を追記 「また、令和元年6月に施行された～」
3 ページ・ 1 (4)	3 行目 令和元年度報酬改定の処遇改善加算概要を追記 「経験や技能のある職員に重点化を図りつつ～」
7 ページ	SDGs の該当目標を追加
8 ページ・ 表	主な事業の説明を修正 「『仙台市障害者保健福祉計画』の重点事業や新規事業等の主な事業を記載」 →「『仙台市障害者保健福祉計画』の主な掲載事業等を記載」  その他評価指標の説明を修正 「量的モニタリングで把握できない」→「事業の実績だけでは必ずしも把握できない効果等について」
8 ページ・ 表の注釈	※1 量的モニタリング及び※2 質的モニタリングの説明を追記
10～43 ページ・ 表	各表中の主な事業 【重点】及び【新規】を削除 各表中の主な事業、主な実績、課題の掲載順番を統一
10～43 ページ	SDGs の該当目標を追加・修正
12 ページ・ 表	課題 成年後見制度に関する課題を追記 「・成年後見制度における本人の～」
14 ページ・ 表	課題 文言を修正 「・発達相談総合情報提供について、より多くの保護者に情報提供できるような情報冊子の有効な活用方法の検討」→「・保護者・支援者等より多くの市民に対して、子供の発達や子供に対する適切な対応についての理解を広げる取組」
16 ページ・ 表	主な実績 アーチル職員の幼稚園・保育所（保育園）への訪問回数を追記 その他評価指標 削除
17 ページ・ 本文 2 (3)	4 行目 発達障害者支援地域協議会に関する文言を修正 「具体的には、発達障害者支援地域協議会の開催による～」→「具体的には、発達障害者支援地域協議会及び部会を開催し～」

17 ページ・本文 2 (3)	8 行目 アーチル職員の学校訪問に関する文言を修正 「また、発達が気になる児童に関する～」→「また、学校訪問による相談支援件数の増加により～」
19 ページ・表	主な実績 仙台市医療的ケア児者等地域支援連絡会の実績を修正 「開催」→「開催回数（1回）」
20 ページ・表	質的モニタリングから得られた意見を修正 「女性の活躍機会の広がり」→「共働き家庭の増加」
20 ページ・表	課題 下線部を追記 ・ ライフステージを通じた身近な地域における家族支援体制の整備・充実 ・ <u>子供の良いところを認めて対応する「ペアレント・プログラム」</u> のより一層の普及 ・ 家族教室における <u>保護者支援メニュー</u> の充実
20 ページ・本文 2 (5)	8 行目 家族教室の保護者支援メニューを追記 「今後は保護者が自信を持って子育てができるような保護者支援メニューを拡充していく必要がある。」
22 ページ・本文 3 (1)	9 行目 地域生活拠点の説明について下線部を追記 「 <u>拠点施設での緊急受入は一定程度定着しているが、～関係機関と連携した面的な受入体制の整備や、緊急受入後のチーム支援の確立が課題となっている。</u> 」
23 ページ・本文 3 (1)	2 行目 精神障害者家族支援事業の説明を修正 「相談の場」→「相談員が精神障害当事者家族の相談にあたる機会」
23 ページ・表	重症心身障害児者等医療型短期入所コーディネート事業研修の R 元年度実績を修正 「15」→「14」
23 ページ・表	主な実績 重症心身障害児者に対する入浴事業利用者数について追記
23 ページ・本文 3 (3)	3 行目 医療型短期入所連携強化の説明について下線部を追記・修正 「 <u>医療型短期入所連携強化について～平成 30 年度は座学や見学実習等が中心だったが、令和元年度は事業所の意見を踏まえ、看護師の実技研修を行う等、より実践に即した内容で実施した。後期期間においては～担当者会議等を活用し、家族等から要望のある短期入所中の日中活動のあり方等を検討していく必要がある。また、利用者が特定の事業所に集中する状況を踏まえ、コーディネーターが様々な場面で新たな事業所の利用や登録の必要性について周知を図っていくことが求められる。</u> 」
24 ページ・本文 3 (3)	26 行目 高次脳機能障害について下線部を追記・修正 「 <u>なお、効果的な訓練内容や訓練実施期間については、複数の訓練内容の試行や定期的な訓練効果の測定に取り組み精査が行われているところである。また、高次脳機能障害に特化した、生活リハビリテーションや社会参加等の場が不足していることも課題となっております。</u> 」

25 ページ・表	<p>課題 修正</p> <p>「消防設備設置費用及び改修費用の負担を一因とする、重度の障害のある方に対応したグループホームの新規開設・増設」→「重度の障害のある方の『住まいの場』の不足。また、『住まいの場』となるグループホームの新規開設・増設」</p>
28 ページ・表	<p>課題 修正</p> <p>「心身障害者医療費助成の処理・手続き及び財政面に係る関係各課・機関との調整」→「受給者数増加に伴う心身障害者医療費助成の処理・手続き量の増加」</p>
31 ページ・表	<p>課題 下線部を追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>就労移行支援事業所等の関係機関の支援スキル向上</u></li> <li>・ <u>福祉的就労利用者の工賃向上のための販路拡大等の支援</u></li> <li>・ <u>市民や企業等に対する障害者就労への理解促進</u></li> </ul>
31 ページ・本文 4 (1)	<p>1行目 下線部を修正</p> <p>「一般就労については、<u>～企業に対し、障害者雇用を積極的に進めている企業の事例紹介や意見交換を行う雇用促進セミナーの実施などにより、新規就労者数の増加を図ってきた。</u>」</p> <p>6行目 下線部を修正</p> <p>「福祉的就労については、<u>勾当台公園市民広場での「ふれあい製品フェア」の開催や、区役所等での「ふれあい製品販売会」等の実施により利用者の工賃向上に努めてきた。</u>」</p> <p>12行目 下線部を追記</p> <p>「<u>また、ふれあい製品の販売機会の拡充や発注支援などにより、福祉的就労に関する工賃向上に取り組んでいくことが必要である。</u>」</p>
32 ページ・表	<p>主な実績のうち自立訓練（機能訓練）及び自立訓練（生活訓練）件数を合算 また、障害者福祉センターにおける実績である旨を追記</p>
34 ページ・本文 4 (3)	<p>4行目 読書バリアフリー法に関する取組について追記</p> <p>「読書環境の整備については、日常生活用具のうち～」</p>
34 ページ・本文 4 (3)	<p>5行目 障害のある方に配慮した図書貸出サービスの内容について追記「市図書館における障害のある方に配慮した図書貸出サービスとして～」</p>
35 ページ・表	<p>課題 交通費助成に関する課題削除</p>
36 ページ・表	<p>主な実績のうち意思疎通支援者養成研修修了人数の令和元年度実績 修正 「92」→「93」</p>
39 ページ・本文	<p>6行目 仙台市営バス以外のノンステップバス車両数について追記</p> <p>「なお、市営バス以外のノンステップバス数は～」</p>
41 ページ・本文	<p>6行目 令和元年度東日本台風等に関する文を削除</p>

42 ページ・表	<p>質的モニタリングから得られた意見を修正</p> <p>「専門職の再就職支援の必要性」→「専門職などの研修機会の確保を通して、他事業所の取組を知り、交流できる場の必要性」</p>
42 ページ・表	<p>課題 修正</p> <p>「人材確保・定着支援事業における事業効果の量的な把握」→「・事業所の枠を超えた職員の交流等による人材確保定着支援の強化」</p>
43 ページ・本文	<p>10 行目 令和2年度の事業所向けアンケートに関する一文を削除</p>